



石海小学校だより

校訓 「あかるく なかよく 力いっぱい」

太子町立石海小学校
NO.1 令和4年4月15日
発行者：校長 久保田 昌之

新年度をむかえて

校庭の木々の若葉が元気いっぱい顔を出しています。子どもたちの新たなスタートを応援してくれているかのようです。保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。4月7日の入学式では、ピカピカの1年生71名が「石海っ子」の仲間入りをしました。今年度の本校の児童数は454名、教職員50名でのスタートです。




さて、1学期始業式の中で、教育学者の東井義雄先生の「心のスイッチ」の詩を紹介しました。

心のスイッチ
東井義雄

人間の目はふしぎな目
見ようという心がなかつたら
見ているも見えない
人間の耳はふしぎな耳
聞こうという心がなかつたら
聞いているも聞えない
頭もそうだ
はじめからよい頭わるい頭
区別があるのではないようだ
「よし、やるぞ!」と
心のスイッチが入ると
頭もすばらしいはたらきを始める
心のスイッチが
人間をつまらなくもし
すばらしくもしていく
電灯のスイッチが
家の中を明るくもし
暗くもするよ

東井義雄「人生の詩」より



子どもたちは、いろいろな可能性をもっています。この能力を眠らせたままにせず、「心のスイッチ」を入れて、夢や目標に向かってがんばりぬくことが大切です。私たち教職員は、「石海っ子」一人一人が、将来の自己実現に必要な資質・能力をしっかりと育むことができるよう精一杯努力していきますので、保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

子どもの見守りにご協力お願いします

新年度が始まり、6年生の登校班長を中心に上手に1年生を導いて登校する姿が見られます。しかし、学年別下校の時は、まだ、体力が十分でないため歩き疲れたり、道に迷ったりする場面が見られます。保護者の皆様、地域の皆様の温かい見守りをよろしくお願いいたします。



【令和4年度学校経営方針の概要】

- 校訓
「あかるくなかよく力いっぱい」
- 教育目標
 - ・人権尊重の精神を基盤として「知・徳・体」の調和のとれた児童の育成
 - ・心豊かで自立して、夢や志の実現に努力する児童の育成
- めざす学校像
 - 子どもたちにとって 「学びたい学校」
 - 教職員にとって 「働きたい学校」
 - 保護者・地域にとって 「応援したい学校」

学校・保護者・地域の一体化 → チーム石海
- 具体的努力事項
 - (1) 感染症対策と学びの保障…感染症対策・協働的な健やかな学びの保障(ICT活用・創意工夫した教育活動)・心のケア・差別防止
 - (2) 「確かな学力」の育成…深い学び・外国語・プログラミング
 - (3) 「豊かな心」の育成…道徳性・人権教育・ふるさと意識
 - (4) 「健やかな体」の育成…体力・運動能力の向上・アレルギー
 - (5) 特別支援教育の充実…多様な学び・支援体制・合理的配慮
 - (6) 兵庫型「キャリア教育」の推進…社会にふれる機会
 - (7) 教職員の資質・能力の向上…使命感・専門的知識・指導力
 - (8) 学校の組織力の強化…協働体制・家庭、地域、校種間連携



お知らせ~緊急メール&留守電

学校から緊急連絡が必要な場合、保護者の皆様にメールでお知らせしますので、「石海小連絡メール」に必ず登録してください。警報等の災害情報が届く「たいし安全安心ネット」にもご登録ください。

太子町内の小中学校すべてに留守番電話が設置されています。18時30分以降は、留守番電話対応となりますので、ご了承ください。

***** 教室の窓 *****

9年ぶりの石海小学校。当時、担任していた5年生の隣のクラスの女の子の自主学習ノートのコピーを今もずっと大事に取っています。その子は、どんな時も笑顔で、話しているといつもこちらが元気になってきます。

ある時、その子の自主学習のテーマは「笑顔について」と書かれていました。その自主学習のまとめに「楽しいから笑うのではなく、笑っているから楽しいことが向こうからやってくるのです。」と締めくくられていました。その言葉をいつも心にとどめて日々を過ごしています。

〈文責：教頭 長谷川 大輔〉